

# フォスター電機株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：製造業（電気機器）</li> <li>● 事業概要：スピーカおよび音響機器・電子機器の製造、販売</li> <li>● 事業規模：連結売上高 140,303百万円 従業員数 グループ合計 22,104名(2019年9月時点)</li> </ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>削減目標：2030年に2018年比で30%削減 取り組み：自社の省エネ活動推進、再生可能エネルギーの導入</p> <p>&lt;Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <p>削減目標：2030年に2018年比で15%削減 取り組み：Scope3全体で削減活動を推進 中期環境計画で、削減のための目標、施策を策定し 実行する。</p>

# フォスター電機株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況(2018年度)</li> </ul> <p>Scope 1, 2 15.6%</p> <p>Scope 3 84.4%</p> <p>Scope 3 カテゴリ1:購入した製品・サービス 58%</p> <p>Scope 3 カテゴリ11:販売した製品の使用 16%</p> <p>Scope 3 カテゴリ4:輸送・配送 5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 : 1,953 [tCO2]</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 : 71,354 [tCO2]</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 : 396,482 [tCO2]</li> </ul>

# フォスター電機株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動に伴う自然災害の増加により、事業拠点、サプライヤーが被災し、製品の供給が困難になる可能性がある。</li> <li>● 炭素税等の規制強化が進むことによる対応コストが増加する。</li> </ul> <p>機会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境配慮型製品の開発促進により、他社との差別化を図ることができる。</li> <li>● 地産地消を推進することで、輸送エネルギー使用量の削減につながる。</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SBTに沿った目標を設定することで、社内での環境活動の方向性を示すことができる。</li> <li>● 中長期的視点での削減活動の推進、省エネの徹底、再エネの導入促進を目指している。</li> <li>● 自社の活動を社外にアピールすることで、企業価値向上、CDP等の評価向上を期待している。</li> </ul>

# フォスター電機株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 環境委員会で検討チームを立ち上げ、環境関連のリスクと機会の分析を実施。</li><li>● EMS事務局で目標案を検討、グループ拠点とも協議を実施。</li><li>● 環境委員会、CSR委員会で説明、取締役会で承認を得た上で、中期環境計画に盛り込む。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● グループ全体で、省エネルギー対策の徹底実施、再生可能エネルギー導入を検討するための体制構築が必要である。</li><li>● Scope1, 2, 3削減目標達成のための効果的な削減施策の検討が課題である。</li><li>● Scope3 カテゴリ1削減のための体制構築、算定精度向上のためのデータ収集が必要である。</li></ul>